褥瘡対策チームの取り組み

～チーム発足から現在の活動について～

社会福祉法人　美芳会
特別養護老人ホーム　風の杜
石井久恵
秋山絢子

目次

1.美芳会について
2.特別養護老人ホーム風の杜について
3.褥瘡対策チーム発足～施設としての取り組み
4.事例紹介
5.まとめ

1. 美芳会について

元吉原デイサービスセンター
はまかぜ

養護老人ホームするが荘

美芳会支援センター

富士市東部包括支援センター

特別養護老人ホーム　すどの杜
すどデイサービスセンター

特別養護老人ホーム
風の杜

●施設の概要

・特別養護老人ホームすどの杜
（H08.04.01開始）　定員50名

・すどデイサービスセンター
（H08.04.01開始）　定員37名

・美芳会支援センター【居宅支援事業】

・元吉原デイサービスセンターはまかぜ
（H11.04.01開始）　定員37名

・富士市東部地域包括支援センター
（H19.04.01開始）

・特別養護老人ホーム風の杜
（H26.04.01開始）定員29名

・風の杜ショートステイ事業所
（H28.04.01開始）　定員10名

・養護老人ホームするが荘
（H28.03.28開始）定員90名

2.特別養護老人ホーム　風の杜について
（地域密着ユニット型　H26開設）

入所：定員29名

ショートステイ：定員10名

静岡県富士市東部（富士見台地区）に
位置し、落ち着いた雰囲気の中、
穏やかな暮らしを
介護職を中心とした専門職によるケアを
提供させていただいております。

3.褥瘡対策チーム発足～施設としての取り組み

褥瘡対策チーム発足

・H30年度より新たに褥瘡マネジメント加算が新設

・施設での褥瘡対策の取り組みを組織化

・R2年度より『褥瘡対策チーム発足』

褥瘡対策チーム　発足について

【目的】：褥瘡発生ゼロを目指す。褥瘡対策のための指針を作る。
　　褥瘡が発生しない為の仕組みを作る。

【理由】：　１　体位交換やポジショニングの徹底と共有
　　２　オムツ交換時、入浴・排泄介助時の気づきの向上
　　３　栄養、スキンケアへの介入
　　４　利用者ＱＯＬの向上

【対象者】：特養利用者
　　利用者への直接的介入は毎日。ミーティングは月1回実施。

【方法】：　チーム内で検討していく　褥瘡発生時の対応については、
　　フローを作成し、使用。褥瘡予防の対応については、チーム内で検討。

褥瘡対策チームの構成メンバー

・各ユニットの介護職員（代表1名）
・看護師
・機能訓練指導員
・管理栄養士
・歯科衛生士
・介護支援専門員

褥瘡対策チーム　活動開始において

褥瘡に対する知識や実施している対応策
多職種との情報共有の状況等について
職員にアンケートを実施

👇

まずは　**現状把握**

アンケート結果より

・褥瘡の原因や予防、注意点については認識としては全体的に共通

ただし・・・

・どのタイミングで褥瘡発生とするのか？認識にズレが？
・赤みや皮むけの程度がどのくらいで
看護師に報告するのか？

施設内での統一した認識が持てていないのでは？

そこで・・・

・褥瘡対策チームで検討

①好発部位に出来た皮むけや消退しない赤みは褥瘡とみなす

②発見した職員は写真を撮影し、該当する記録項目に残す

③褥瘡発生した場合は、速やかに計画書を変更する

３つの項目について、職員で周知・共有を図る

３ヵ月ほど実施・・・

問題が・・・

・褥瘡発生に対し、職員間での周知がなかなか徹底されない

・褥瘡発生後の対応が徹底されない

・長時間の坐位などの同一姿勢の利用者の除圧ができない・・・

なんとか出来ないか・・・？

褥瘡対策チームで検討👂

- ❗ **視覚的に確認が出来るようフローシートを作成**
- ❗ **ミーティング内で計画書の進捗を確認**
- ❗ **除圧の時間を口腔体操を活用して実施**

褥瘡予防対応フローチャート

＊マグネットに利用者氏名を貼り付け、
状態に合わせて適宜見直し、
新規入所者等含め、追加変更を行う

褥瘡ケア計画書『褥瘡の発生と関連のあるリスク』の
〝自分で行っていない〟にチェックが入っている

『褥瘡予防対象者』とし、施設介護計画書にも褥瘡予防対象者として
移動部分にケア内容を記入し、日々予防的対応をしていく

予防的対応（褥瘡予防対象者）

利

トラブルなし

皮膚状態観察
継続(ＣＷ・NS)

皮膚の乾燥

保湿開始
(利用者全員)
（ＣＷ・NS)

皮膚状態観察
継続(ＣＷ・NS)

食事摂取量の低下
嚥下状態の低下

利

椅子や車椅子に
座りっぱなし
同一姿勢が続く

ベット上では２ｈ
ごとの体位交換
座りっぱなし・車
椅子を自走しない
方は
水分補給時・食事
前に座り直し・足
踏み実施

消退する赤みや
擦過傷発見

発見者保湿対応
NS報告・記録
入力

NS確認対応

食事内容・形態
栄養補助食品等
の検討

体重測定・食事
摂取状態の観察

褥瘡発生時の対応（褥瘡ケア対象者）

褥瘡発生(消退しない赤み)

褥瘡確認

Dr報告　診察(NS
指示もらう)

Dr指示に従い
処置開始(NS)

１か月事の計画書
作成

回診時診察

計画 ⟺ 評価
ケア**計画実施継続**

観察継続
（ＣＷ・NS)

治癒
褥瘡ケア計画作成

❗ 視覚的に確認が出来るようフローシートを作成

①各ユニットの、職員が目に留まる場所に掲示

②居室担当がマグネットは適宜移動

③利用者個々の状況を視覚的に周知

④多職種が共有出来る

❗ ミーティング内で計画書の進捗を確認

月１回のミーティングで

①褥瘡発生者・褥瘡予防対象者の確認

②対応策の確認と検討

③計画書の確認と検討

❗ 除圧の時間を口腔体操を活用して実施

①各ユニットで昼食前の口腔体操の時間を活用

②体操前には必ず　①坐り直し　②立位保持　③除圧

③体操の時間にアラームが鳴るように時計をセット

結果・・・

①職員の褥瘡対策・褥瘡予防に対する
気づきや意識の向上

②褥瘡対策チーム内で多職種による対策の提案と実践

③日常の褥瘡対策・褥瘡予防に対する
職員間での意見交換の頻度増

4.事例紹介

褥瘡対策チーム発足のきっかけとなったケース

・脳梗塞による不全麻痺

・食事摂取量の不安定さ

・皮膚の脆弱

・排便コントロール不良

＊使用させていただいている写真については、ご本人・ご家族より承諾を得ております。

2020.9.18

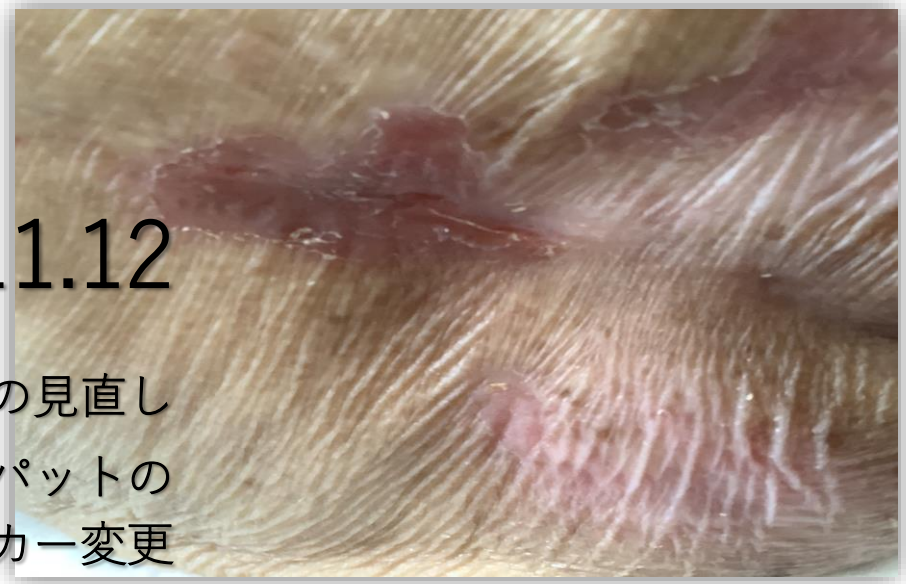
褥瘡発生

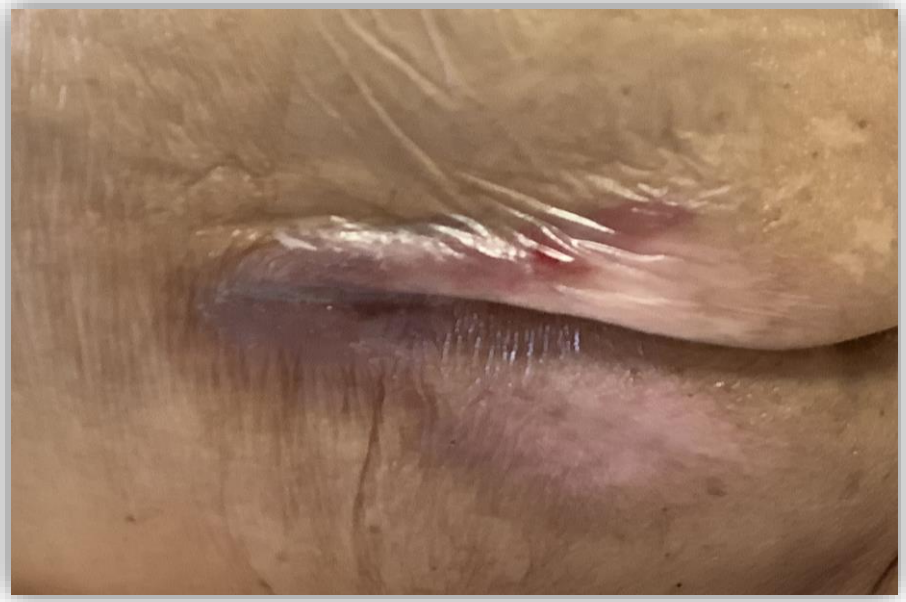
2020.11.12

排泄交換時間の見直し

使用するパットの

メーカー変更



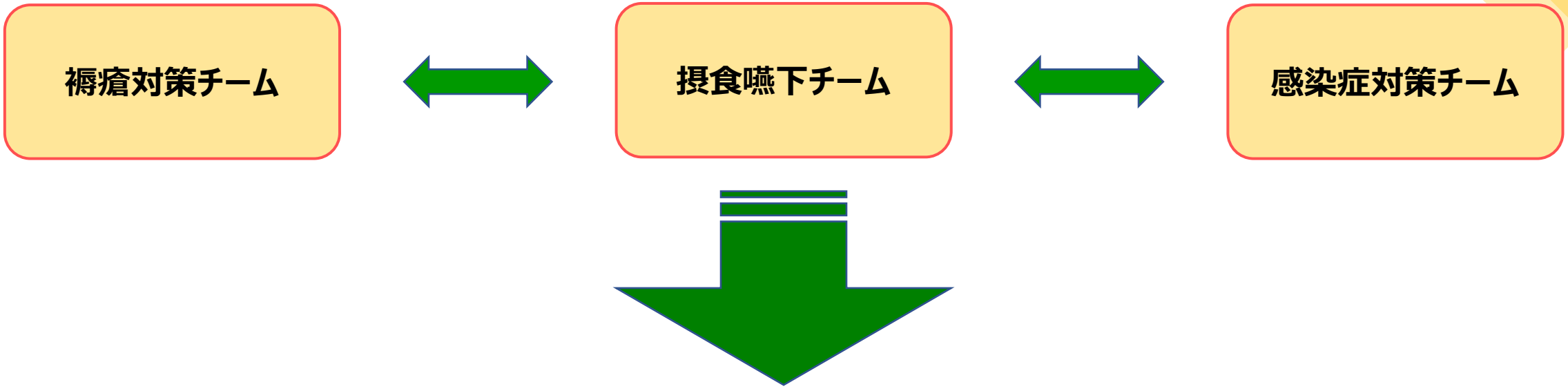


2021.3.15

半年で改善傾向

5.まとめ

今後の課題として・・・



利用者のケアの質の向上・利用者のQOLの向上

ご清聴

ありがとうございました

社会福祉法人
美芳会